

新国立劇場 2021/2022 シーズンオペラ

G. ドニゼッティ

愛の妙薬

L'elisir d'amore

2022年2月7日(月)~2月13日(日)

会場:新国立劇場オペラパレス 2021年12月26日(日)前売開始



2018年公演より

嘘の薬と本当の愛。不器用な奮闘にホロリとさせられる、ドニゼッティのキュートな恋物語

村一番の美人アディーナの心を掴もうと、不器用な青年ネモリーノが偽の惚れ薬を飲んで奮闘する、キュートな恋物語『愛の妙薬』。ドニゼッティの代表作で、楽しさいっぱいの空気の中に哀愁漂うメロディーが心に響く、ベルカント・オペラの傑作です。ネモリーノのアリア「人知れぬ涙」は数あるオペラのアリアの中でもテノール屈指の名曲で、この曲をお目当てにするオペラファンも多いはず。カラフルで目にも楽しい演出は、初めてのオペラにもお薦めです。

甘い美声のガテルに演技派アゾーディ、大人気のデ・カンディア。旬の歌手が揃い踏み！

注目のネモリーノには、19年『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオで新国立劇場にデビューし、甘く透明感に満ちた声の繊細なコントロールで一躍注目を浴びたベルカント・テノールのファン・フランシスコ・ガテルが登場。アディーナは『アルマゲドンの夢』ペラで声も演技も絶賛されたジェシカ・アゾーディ、ドゥルカマラを歌うのは日本でも大人気のロベルト・デ・カンディア、色男ベルコーレにはイタリアの実力派タッディアと、最高のキャストが揃い踏み。絶品の舞台にご期待ください。

* 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じた新時代の生活様式に基づき、演出の一部を変更して上演します。

* 招聘キャスト、指揮者につきましては、出入国制限の状況により変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

< 資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ >

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel: 03-5352-5733 / Fax: 03-5352-5709 / E-Mail: takanashi_y2525@nntt.jac.go.jp

嘘の薬と本当の愛。不器用な奮闘にホロリとさせられる、ドニゼッティのキュートな恋物語

『愛の妙薬』は、ベルカント・オペラを代表する作曲家ドニゼッティの人気オペラ・ブッフア(喜劇)。偽の惚れ薬“愛の妙薬”をめぐる、コミカルでちょっぴりホロリとする恋の物語で、誰もが幸せな気持ちになれるオペラとして世界中で愛されています。テノール屈指の名曲「人知れぬ涙」をはじめ、ネモリーノのカヴァティーナ「なんて美しい!」、アディーナの告白のアリア「受け取って、私のおかげであなたは自由」、そしてフィナーレのドゥルカマーラの超絶な口上「この薬はなんでも治します」と、色とりどりの美しいナンバーが盛り込まれています。新国立劇場のリエヴィ演出は遊び心がいっぱい。9メートルもある本や文字、実物大の小型飛行機などがカラフルな舞台上に次々登場し、丁寧な心理描写で恋物語を運びます。目にも耳にも楽しい『愛の妙薬』は、初めてのオペラにもお薦めです。

旬の歌手たちが揃い踏みの絶品の顔合わせ

注目のネモリーノには、19年『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオで新国立劇場にデビューし、甘く透明感に満ちた声と繊細なコントロールで一躍注目を浴びたベルカント・テノールのファン・フランシスコ・ガテルが登場。オッターヴィオやフェントン、アルマヴィーヴァ伯爵で主要劇場を飛び回るベルカントの旗手の一回り成長した姿が楽しみです。アディーナは『アルマゲドンの夢』ペラで声も演技も絶賛されたジェシカ・アゾーディが、得意のコラトゥーラで新たな顔を見せます。インチキ薬売りのドゥルカマーラを歌うのは日本でも大人気の名バリトン、ロベルト・デ・カンディア。色男ベルコーレにはイタリアの実力派タッディアが出演します。指揮のランツィロッタのイタリア・オペラの手腕も大野和士芸術監督が太鼓判を押しています。世界のオペラ界最前線のアーティストが織り成す絶品の舞台にご期待ください。

<「愛の妙薬」あらすじ>

【第1幕】村人たちが集い、農場主の娘アディーナが本を読み聞かせている。彼女に恋しているネモリーノがその様子をうっとり見つめる。アディーナはトリスタンとイゾルデの話聞かせ、「こんなに効く媚薬があったらいいわね」と笑う。軍曹ベルコーレが兵隊と共に登場、アディーナに目を留める。ネモリーノも彼女を呼び止めるがつかなくされる。偽医師のドゥルカマーラがネモリーノに「愛の妙薬」と偽ってワインを売りつけ、一日後に効き目が出ると騙す。軍曹に出発命令が届き、アディーナに「今日中に結婚しよう」と告げる。それでは妙薬が効かないと焦ったネモリーノはもう一日待ってくれと頼んで笑い者になる。アディーナは宴に皆を招き、ネモリーノはひとり偽医師の助けを求めて叫ぶ。

【第2幕】アディーナと軍曹の結婚祝いの席。アディーナは姿の見えないネモリーノを気にする。ネモリーノは妙薬をまた買う金を求めて、ベルコーレに入隊を志願する。娘たちが「ネモリーノが親戚の莫大な遺産を相続した」と噂する。やってきたネモリーノを娘たちが急に持ち上げるので、彼は薬の効き目を実感する。アディーナはネモリーノが妙薬のために入隊を志願したと聞きほろりとする。彼女の涙を目にしたネモリーノは、名アリア「人知れぬ涙」で彼女の心のうちを悟ったと歌う。アディーナは、ベルコーレから買い戻した入隊契約書をネモリーノに差し出すが、彼は「愛してもらえないのなら兵隊になって死にたい」と叫ぶ。二人は本心を告げあう。ベルコーレが登場、潔くアディーナを諦める。村を去るドゥルカマーラを、一同がにぎやかに見送る。



令和2年度文化芸術振興費補助金「子供文化芸術活動支援事業」(劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業)により18歳以下のお子様合計692名様無料ご招待!

『愛の妙薬』は、文化庁による子供文化芸術活動支援事業(劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業)として採択されました。これにより、本公演の4公演日を対象に、抽選で合計692名のお子様を無料でご招待いたします。

子供文化芸術活動支援事業(劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業)は、新型コロナウイルス感染症の影響下において、劇場・音楽堂等で子供たちが文化芸術の鑑賞や体験をする機会が多く失われている状況に鑑み、劇場・音楽堂等で行われる実演芸術を18歳以下のお子様が無料で鑑賞できる取組を支援するものです。不器用な青年ネモリーノのピュアな恋物語が美しい音楽で綴られる『愛の妙薬』、世界中で親しまれている心温まる名作オペラを、この機会にぜひ、子ども達とご鑑賞ください。

“こども招待席”は一般発売に先駆けて受付を致しましたが、このたび12月26日(日)10:00より、二次募集を開始します。

■対象:こども招待席

※公演日当日に小学生~18歳以下のお客様

※19歳以上の方は一般発売にてお買い求めください。

■チケット料金: 無料

※ただし、こども招待席のお申し込みにあたり、以下の手数料をご負担いただきます。

発券手数料: 110円

システム手数料: 220円

■受付方法

専用発売Webページより先着受付(お一人様1枚限り)

■引取方法

コンビニエンスストア引取(セブン-イレブン/ファミリーマート)

■お問い合わせ

チケットについて: 新国立劇場ボックスオフィス 03-5352-9999(10:00~18:00)

事業内容について: 新国立劇場営業部 opera09@nntt.jac.go.jp

<主要キャスト・スタッフプロフィール>

【指揮】フランチェスコ・ランツィロッタ

Francesco LANZILLOTTA

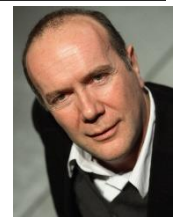
イタリア出身。イタリアの著名劇場に定期的に客演。RAI交響楽団、スイス・イタリア管弦楽団などの重要オーケストラにも定期的に招かれ、トスカニーニ・フィルでは音楽監督を4年間務める。20世紀音楽や現代音楽、現代オペラにも注力し、ナンシー歌劇場、フェニーチェ歌劇場でバッティステッリ『Il medico dei pazzi』世界初演、フェニーチェ歌劇場『人間の声』を指揮。マチェラータ音楽祭では2015年に『リゴレット』を指揮し、17年に音楽監督に就任。16/17シーズンには東京フィルハーモニー交響楽団、モンペリエ歌劇場、エッセン・アールト劇場、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルにデビュー。最近では、チューリヒ歌劇場『マクベス』、ナンシー歌劇場『7 minutes』(バッティステッリ作曲、世界初演)、パレルモ・マッシモ劇場『ラ・ファヴォリータ』、フェニーチェ歌劇場『椿姫』、ポリショイ劇場『フィガロの結婚』、ザクセン州立歌劇場『ランスへの旅』、バレンシア・ソフィア王妃芸術宮殿『ランスへの旅』、マチェラータ音楽祭『ドン・ジョヴァンニ』、フランクフルト歌劇場『ウェルテル』、バイエルン州立歌劇場『ラ・ボエーム』などを指揮している。新国立劇場初登場。



【演出】チェーザレ・リエヴィ

Cesare LIEVI

イタリアのブレシア・ガルニャーノ生まれ。イタリア、ドイツ、オーストリアで1980年代に舞台演出家として成功を収める。オペラの分野では90年代よりミラノ・スカラ座でシーズン・オープニングの『パルジファル』、ウィーン国立歌劇場『ジェズアルド』、メトロポリタン歌劇場『チェネレントラ』、ベルリン州立歌劇場『マノン』、モデナ市立劇場『ピーター・グライムズ』、カターニャ・ベッリーニ劇場『ラインの黄金』『ワルキューレ』などを手がけている。チューリヒ歌劇場には継続的に招かれ、『妖精ヴィットリ』『道化師』『シチリアの晩鐘』『ジュリオ・チェーザレ』『アルジェのイタリア女』など数多くの作品を発表している。最近ではサンパウロ歌劇場『マノン・レスコー』、クラゲンフルト歌劇場『カルメン』、モンテカルロ歌劇場『ワリー』、パルマ・ヴェルディ音楽祭『ドン・カルロ』などの新演出を手がけている。



【アディーナ】ジェシカ・アゾーディ(ソプラノ)

Jessica ASZODI

オーストラリア出身。ジャンルやレーベルを超え、埋もれた作品の復活から新作初演、スタンダードなオペラから多ジャンルのコラボレーションまで幅広く活動。メルボルン響、シドニー響、アデレード響、シドニー・ピンチガッド・オペラ、チロル響、ヴィクトリア・オペラ、シドニー・チェンバー・オペラ、シカゴ響などに、シュトックハウゼンの「光」から『木曜日』イヴ、サティ『ソクラテス』タイトルロール、モーツァルト『羊飼いの王様』アミンタ、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、『ジュリオ・チェーザレ』セスト、ウォルトンの『熊』ポポーヴァ、カーター『What Next?』ローズ、『ナクソス島のアリアドネ』エコーなどで出演。ボンのベートーヴェン音楽祭、ビビッド・シドニー、ベンディゴ国際音楽祭、メルボルン・フェスティバル、アデレード・フェスティバル、オールドバラ音楽祭、タングルウッド音楽祭などにも出演。オーストラリアのリゾナント・ボディ・フェスティバルの共同ディレクター、ベンディゴ国際音楽祭アーティストティック・アソシエイト。2017年にはシカゴのハイ・コンセプト・ラボのアーティスト・イン・レジデンスに参加。最近ではシドニー・オペラハウスでリザ・リンがアゾーディのために作曲した『Atlas of the Sky』、ウィーン・フォルクスオーパーのミュージカル『Brigadoon』などに出演。新国立劇場には20年『アルマゲドンの夢』ペラで初登場した。



【ネモリーノ】ファン・フランシスコ・ガテル(テノール)**Juan Francisco GATELL**

アルゼンチン出身。明るく魅惑的、エレガントな声と劇的な表現で躍進中のリリックテノールのライジングスター。2004年カルーソーコンクール、06年AsLicoコンペティションなど数々のコンクールで優勝。ミラノ・スカラ座、フェニーチェ歌劇場、トリノ王立歌劇場、ローマ歌劇場、フィレンツェ歌劇場、シャンゼリゼ劇場、ウィーン国立歌劇場、リセウ大劇場、テアトロ・レアル、パリオペラ座、ロサンゼルス・オペラ、ザルツブルク音楽祭、ロッシェニ・オペラ・フェスティバルなど世界中の歌劇場やコンサートに『魔笛』タミーノ、『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、『コジ・ファン・トゥッテ』フェルランド、『ドン・パスクワレ』エルネスト、『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵、『愛の妙薬』ネモリーノなどで出演。特にフェニーチェ歌劇場への『羊飼いの王様』アレクサンドロ大王と『放蕩者のなりゆき』トム・レイクウェルでのデビューは大評判を起し、スカラ座『ルチア』アルトゥーロ、ウィーン国立歌劇場『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵、ロサンゼルス・オペラ『ファルスタッフ』フェントン、ワシントン・オペラ『ドン・ジョヴァンニ』、ザルツブルク音楽祭『ロメオとジュリエット』ティボルトなどの大成功は特筆される。最近では、フェニーチェ歌劇場、ローマ歌劇場、モネ劇場『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、テラトロ・レアル『愛の妙薬』ネモリーノ、ロッシェニ・フェスティバル『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵、ベルリン州立歌劇場、ソフィア王妃芸術宮殿、エクサンブロヴァンス音楽祭、リヨン歌劇場『ファルスタッフ』フェントンなどに出演。新国立劇場へは19年『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオでデビューした。

**【ベルコーレ】ブルーノ・タッディア(バリトン)****Bruno TADDIA**

イタリア出身。ヴァイオリンを学んだ後、声楽、バロック・ヴァイオリン、作曲を学ぶ。バロック、古典オペラから現代曲まで幅広いレパートリーで活躍。2001年のロッシェニ・オペラ・フェスティバル『ランスへの旅』アルヴァーロでデビューした後、ミラノ・スカラ座、英国ロイヤルオペラ、ジュネーヴ大劇場、ザクセン州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、シャトレ座、シャンゼリゼ劇場、アン・デア・ウィーン劇場、リセウ大劇場など世界各地の歌劇場で『セビリアの理髪師』フィガロ、『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、『オーリドのイフィジェニー』オレステ、『ドン・パスクワレ』マラテスタ、『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロールなどへ出演。最近の出演ではコロラド・オペラ『セビリアの理髪師』フィガロ、プッチーニ・フェスティバル『ジャンニ・スキッキ』タイトルロール、モンペリエ歌劇場『ファルスタッフ』タイトルロールが特筆される。新国立劇場初登場。

**【ドゥルカマーラ】ロベルト・デ・カンディア(バリトン)****Roberto DE CANDIA**

イタリア出身。ミラノ・スカラ座、英国ロイヤルオペラ、メトロポリタン歌劇場、ウィーン国立歌劇場、パリオペラ・コミック、ベルリン・ドイツ・オペラ、ザクセン州立歌劇場、チューリヒ歌劇場、ローマ歌劇場、ブリュッセル・モネ劇場などの一流歌劇場や音楽祭に登場している。ロッシェニを得意とし、多くの役でロッシェニ・オペラ・フェスティバルに出演しているほか、『セビリアの理髪師』フィガロなどで世界中で活躍。近年はレパートリーを広げ、『ファルスタッフ』タイトルロール、『ジャンニ・スキッキ』タイトルロール、『椿姫』ジェルモン、『仮面舞踏会』レナート、『愛の妙薬』ドゥルカマーラなどに出演している。最近の出演に、ナポリ・サンカルロ歌劇場『魔笛』パパゲーノ(ロールデビュー)、『椿姫』ジェルモン、テアトロ・レアル『ファルスタッフ』、ウィーン国立歌劇場『ドン・パスクワレ』タイトルロール、ノルウェー国立オペラ『愛の妙薬』ドゥルカマーラなどがある。来日も多く日本のファンも多い。新国立劇場には1999年『マノン・レスコー』レスコー、2002年『セビリアの理髪師』フィガロ、09年『チェネレントラ』ダンディーニ、18年『ファルスタッフ』タイトルロールに続いての登場。

**【ジャンネッタ】九嶋香奈枝(ソプラノ)****KUSHIMA Kanae**

東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所第4期修了。文化庁派遣在外研修員としてミラノに留学。2005年にはギリシャ・アテネにて『魔笛』(ミハエル・ハンペ演出)に招聘され出演。第54回全日本学生音楽コンクール第1位、HIMESコンクール第1位。新国立劇場では『愛の妙薬』ジャンネッタ、『フィガロの結婚』スザンナ、バルバリーナ、『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、『パルジファル』小姓1、『ジークフリート』森の小鳥、『魔笛』パパゲーナ、高校生のためのオペラ鑑賞教室『ドン・パスクワレ』ノリーナなどに出演している。21年『ベレアスとメリザンド』イニョルドに出演予定。二期会会員。



令和2年度文化芸術振興費補助金「子供文化芸術活動支援事業」(劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業)

新国立劇場 2021/2022 シーズンオペラ
G.ドニゼッティ **愛の妙薬**
Gaetano DONIZETTI / L'elisir d'amore
全2幕<イタリア語上演/日本語及び英語字幕付>

【公演日程】2022年2月7日(月)19:00/9日(水)14:00/11日(金・祝)14:00/13日(日)14:00

【会場】新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】S:24,200円・A:19,800円・B:13,200円・C:7,700円・D:4,400円・Z:1,650円

【前売開始】2021年12月26日(日)

※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じた新時代の生活様式に基づき、演出の一部を変更して上演します。

※招聘キャスト、指揮者につきましては、出入国制限の状況により変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

指揮	フランチェスコ・ランツィロッタ	アディーナ	ジェシカ・アゾーディ
Conductor	Francesco LANZILLOTTA	Adina	Jessica ASZODI
演出	チェーザレ・リエヴィ	ネモリーノ	フアン・フランシスコ・ガテル
Production	Cesare LIEVI	Nemorino	Juan Francisco GATELL
美術	ルイジ・ペーレゴ	ベルコーレ	ブルーノ・タッディア
Set Design	Luigi PEREGO	Belcore	Bruno TADDIA
衣裳	マリーナ・ルクサルド	ドウルカマーラ	ロベルト・デ・カンディア
Costume Design	Marina LUXARDO	Dulcamara	Roberto DE CANDIA
照明	立田雄士	ジャンネッタ	九嶋香奈枝
Lighting Design	TATSUTA Yuji	Giannetta	KUSHIMA Kanae
再演演出	澤田康子		
Revival Director	SAWADA Yasuko		
舞台監督	高橋尚史		
Stage Manager	TAKAHASHI Naohito		

合唱指揮	三澤洋史
Chorus Master	MISAWA Hirofumi
合唱	新国立劇場合唱団
Chorus	New National Theatre Chorus
管弦楽	東京交響楽団
Orchestra	Tokyo Symphony Orchestra

芸術監督	大野和士
Artistic Director	ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/lelisirdamore/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

* 乙席 1,650円:公演当日朝 10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引、当日学生割引(50%)など各種割引あり。* 未就学児入場不可。

* 新国立劇場における新型コロナウイルス感染症拡大予防への取り組みと主催公演ご来場の皆様へのお願い

https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html

本公演はレパートリー作品です。過去の上演の舞台写真を宣材としてご提供致します。



【1】



【2】



【3】



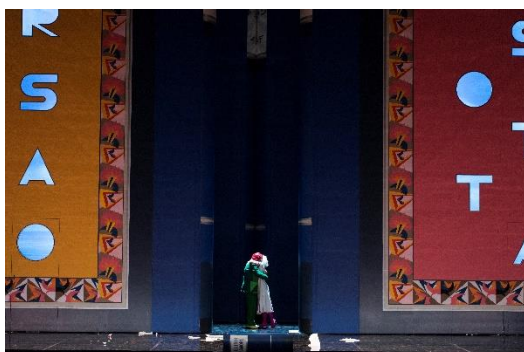
【4】



【5】



【6】



【7】



【8】

新国立劇場『愛の妙薬』2018年公演より 撮影:寺司正彦